

令和 7 年度 教育委員会 第 7 回定例会 議案

1 日 時 令和 7 年 7 月 2 日（水） 午後 1 時 30 分

2 場 所 教育委員会議室

3 日 程

（1）開 会

（2）議 案

第 10 号議案 令和 8 年度高等学校学科改善

… 1

（3）報告事項

（4）閉 会

第 10 号議案

令和 8 年度静岡県立高等学校学科改善

令和 8 年度静岡県立高等学校学科改善について、別紙のとおり決定する。

令和 7 年 7 月 2 日提出

静岡県教育委員会教育長

(別紙)

令和8年度 沼津工業高等学校の学科改善（案）

1 概要

社会環境の変化や地域のニーズ等を踏まえた教育内容の改善を図るため、沼津工業高等学校について、学科の改善を行う。

2 学科改善の概要

学校名	改善前	改善後
沼津工業（全日制）＜工業科＞		
	機 械 科	（ 変 更 な し ）
	電 気 科	（ 変 更 な し ）
	電 子 ロ ボ ッ ト 科	（ 変 更 な し ）
	建 築 科	建設デザイン科 建築類型 都市工学類型
	都 市 環 境 工 学 科	

<参考資料>

沼津工業高等学校の学科改善計画について

(高校教育課 学校づくり推進班)

1 学科改善の概要

学校名	改善前	改善後
沼津工業（全日制）<工業科>	機 械 科	（ 変 更 な し ）
	電 気 科	（ 変 更 な し ）
	電 子 ロ ボ ッ ト 科	（ 変 更 な し ）
	建 築 科	建設デザイン科 建築類型 都市工学類型
	都 市 環 境 工 学 科	

2 改善の必要性及び方向性

(1) 建築科、都市環境工学科 → 建設デザイン科

<改善の必要性>

- ・地域や企業から専門性の高い技術が求められる中、地域の社会生活基盤を維持できる人材や、技術革新に貢献できる人材の育成が急務となっている。
- ・建築と土木の両分野を融合することで、新たな解決策や効率的な施工方法が生まれる可能性がある。また、生徒は多様なキャリアの選択肢を持ち、幅広い職業に対応できるようになる。

<改善の方向性>

- ・「建築科」と「都市環境工学科」を発展的に統合し、「建設デザイン科」に改編し、建築類型と都市工学類型を設置する。両分野の広い知識と高い技術を習得することで、環境に配慮した街づくりや、機能的で自然環境と調和する住宅設計を担える技術者を育成する。また、両分野の科学的、工業的知見を基に未来の都市や住環境づくりに携わる建築技術者及び土木技術者を育成する。

第7回定例会 報告事項

番号	項 目	Page
配付 報告 1	監査結果に関する報告	P1
配付 報告 2	監査結果に関する措置状況報告	P4
配付 報告 3	静岡県立高等学校学則の一部を改正する規則の改正	P6

監査結果に関する報告

(財務課)

令和 7 年度第 1 回の監査結果

1 指摘等事項の概要

令和 7 年 6 月 25 日に、今年度、第 1 回目の監査結果の報告があった。

今回は、令和 7 年 6 月 9 日に実施した県立学校等 13 所属の定期監査の報告で、教育委員会については、指摘等はなかった。

監 査 第 36 号－ 2

令和 7 年 6 月 25 日

静岡県教育委員会教育長

池 上 重 弘 様

静岡県監査委員

山 下 和 俊

静岡県監査委員

松 本 早 巳

静岡県監査委員

土 屋 源 由

静岡県監査委員

木 内 満

監査の結果に関する報告について

地方自治法第 199 条第 9 項の規定に基づき、令和 7 年 6 月 9 日に実施した監査の結果に関する報告を次のとおり提出します。

第1 監査の概要

令和7年6月9日に実施した出先機関に係る監査である。

出先機関に対しては、静岡県監査委員監査基準に基づき、財務監査及び行政監査を実施した。財務監査は、収入及び支出の状況（非常勤職員報酬、職員手当、普通旅費、需用費、役務費、委託料、工事請負費、原材料費、公有財産購入費、補償、補填及び賠償金、備品購入費、補助金の状況等）並びに財産管理の状況に重点を置いて、行政監査は、重点的に実施している事業の実績や成果、課題などに重点を置いて実施した。財務監査及び行政監査は、法令に適合し適正に行われているか、経済的、効率的かつ効果的に実施されているか、県の組織及び運営が合理的であるかなどの視点から、定期監査として実施した。

第2 定期監査の結果

1 監査結果がある機関 該当なし

2 監査結果がない機関

【出先機関】

- | | |
|-----------------|------------------|
| (1) 静西教育事務所 | (監査実施日 令和7年6月9日) |
| (2) 田方農業高等学校 | (監査実施日 令和7年6月9日) |
| (3) 三島南高等学校 | (監査実施日 令和7年6月9日) |
| (4) 清水東高等学校 | (監査実施日 令和7年6月9日) |
| (5) 清水西高等学校 | (監査実施日 令和7年6月9日) |
| (6) 清水南高等学校 | (監査実施日 令和7年6月9日) |
| (7) 静岡高等学校 | (監査実施日 令和7年6月9日) |
| (8) 焼津水産高等学校 | (監査実施日 令和7年6月9日) |
| (9) 掛川東高等学校 | (監査実施日 令和7年6月9日) |
| (10) 掛川西高等学校 | (監査実施日 令和7年6月9日) |
| (11) 池新田高等学校 | (監査実施日 令和7年6月9日) |
| (12) 静岡視覚特別支援学校 | (監査実施日 令和7年6月9日) |
| (13) 清水南高等学校中等部 | (監査実施日 令和7年6月9日) |

監査結果に関する措置状況報告

(財務課)

1 概 要

令和 6 年度第 4 回監査結果は以下のとおりで、指摘等事項についての改善措置状況を監査委員に報告した。

項目	監査結果	対象期間	監査方法	対象	結果内容
令和 6 年度 第 4 回	R7. 3. 3	R6. 11. 11 ～ R7. 1. 29	定期監査	37所属	注意 1 件

2 監査結果の区分

(1) 指 摘

次に掲げる事項に該当し、その程度が著しいもの及びその他指摘すべき重大な事項

- ア 法令・条例・規則に違反している事項
- イ 収入確保に適切な措置を要する事項
- ウ 予算を目的外に支出している事項
- エ 著しく不経済な支出又は著しい損害を生じている事項
- オ 既に注意したもので是正又は改善されていない事項

(2) 注 意

指摘に掲げる事項に該当し、その程度が軽微なもの、既に指導したもので是正されていない事項及びその他特に注意すべき事項

(3) 意 見

組織及び運営の合理化や事務・事業の適正化など多様な観点から必要があると認める事項

3 指摘等一覧

(1) 令和 6 年度第 4 回 監査結果

ア 定期監査

<注意：1 件>

対象機関	件 名	詳細
富士宮北高等学校 (※機関名は非公表)	教員による生徒への不適切な言動の複数回の発生	1

(別紙 1 : 「指摘又は注意」用)

監 査 対 象 機 関	監 査 結 果 報 告 年 月 日
教育委員会事務局の出先機関 (機関名は非公表)	令和 7 年 3 月 3 日
【監査の結果】 1 監査結果の区分 注意 2 件 名 教員による生徒への不適切な言動の複数回の発生 3 内 容 県立高等学校の教諭は、令和 5 年 4 月から令和 5 年 9 月にかけて、授業中、居眠りをしている生徒を起こすために、複数回、複数の生徒に対して指で額を弾く、頭頂部を軽く叩く、口にチョークを入れる等の行為を行った。 また、同校の別の教諭は、顧問を務める部活動の指導において、体罰事案を起こした。	
【措置の内容】 1 事案 A (授業中の不適切な言動) (1) 事案発生の背景 当該教諭が不適切な言動を行った背景には、生徒が授業中に繰り返し居眠りをしていたことがありました。 (2) 原因 当該教諭のコンプライアンス意識の低さが主な原因です。注意喚起の意図があったとはいえ、その言動は明らかに不適切であり、許されるものではありません。 (3) 防止策 当該教諭に対しては、県教育委員会からの指導措置に加え、校長からも指導を行いました。また、事案発生直後の令和 5 年 10 月には、全教職員に本事案を周知し、コンプライアンス研修を実施しました。その後も毎月研修を行い、教職員のコンプライアンス意識の向上を図っています。 2 事案 B (部活動中の不適切な言動) (1) 事案発生の背景 当該教諭が不適切な言動を行った背景には、部活動指導に対する過度な熱意がありました。 (2) 原因 当該教諭が感情を適切にコントロールできなかったことが原因です。 (3) 防止策 当該教諭に対しては校長から指導を実施し、特にアンガーマネジメントの重要性について指導しました。また、令和 6 年 7 月には臨時職員会議を開催し、本事案を全教職員に周知するとともに、臨時のコンプライアンス研修を実施しました。事案 A と同様に、継続して毎月のコンプライアンス研修を行い、教職員の意識向上を図っています。さらに、アンガーマネジメントの研修も取り入れています。 今後も研修の充実を図りながら再発防止に努めて参ります。	

静岡県立高等学校学則の一部を改正する規則

(高校教育課)

静岡県立高等学校学則の一部を改正する規則を専決処理により改正した。

1 規則の概要

本規則では、静岡県立高等学校の入学、退学及び休学等について規定している。

2 改正の理由

現在、静岡県公立高等学校入学者選抜において、Web出願の試行を進めている。Web出願を通じて、生徒や保護者の入学手続きの利便性を高め、選抜手続の効率化が図られることが期待される。同時に願書受付業務が簡素化でき、働き方改革がより一層進展することも期待できる。

今回、願書記載事項の精選を進めることで、出願書類を簡素化してWeb出願の本格実施環境を整備していく。

3 改正の内容

志願者の学歴及び職歴について、これまでは卒業した小学校と入学した中学校について記載を求めていたが、それらの記入欄を削除し、卒業中学校、学歴と職歴のみの記載とする。

4 施行期日

公布の日

静岡県立高等学校学則の一部を改正する規則をここに公布する。

令和7年7月 日

静岡県教育委員会教育長 池 上 重 弘

静岡県教育委員会規則第 号

静岡県立高等学校学則の一部を改正する規則

静岡県立高等学校学則（昭和28年静岡県教育委員会規則第3号）の一部を次のように改正する。

様式第1号を次のように改める。

様式第 1 号（第14条関係）（用紙 日本産業規格 A 4 縦型）

受 付 番 号			志 望 課 程			選 抜 の 種 類			※ 1
志 望 学 科	第 1 志 望	第 2 志 望	第 3 志 望	第 4 志 望	第 5 志 望	第 6 志 望	志 願 す る 学 校 裁 量 枠		※ 2
入 学 願 書 年 月 日 静岡県立 高等学校長 様 私は貴校に入学したいので保護者と連署して志願します。									
志 願 者	(ふりがな)	㊞							
	氏 名	(氏名を自署する場合は、押印は不要です。)							
	生 年 月 日	年 月 日 生							
	現 住 所								
保 護 者	(ふりがな)	㊞					志 願 者 と の 続 柄		
	氏 名	(氏名を自署する場合は、押印は不要です。)							
	現 住 所								
連絡先電話番号									
志 願 者 の 学 歴 及 び 職 歴	学 校 名				年 月 日		入学・卒業・その他		
	中学校第 3 学年						卒業見込・卒業		

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

(参考資料)

新 旧 対 照 表

静岡県立高等学校学則の一部を改正する規則

規則名 静岡県立高等学校学則（昭和 28 年静岡県教育委員会規則第 3 号）

改 正 前

様式第 1 号（第 14 条関係）（用紙 日本産業規格 A 4 縦型）

受 付 番 号			志 望 課 程			選 抜 の 種 類			※ 1
志 望 学 科	第 1 志 望	第 2 志 望	第 3 志 望	第 4 志 望	第 5 志 望	第 6 志 望	志 願 す る 学 校 裁 量 枠		※ 2
入 学 願 書									
年 月 日									
静岡県立 高等学校長 様									
私は貴校に入学したいので保護者と連署して志願します。									
志 願 者	(ふりがな)	㊟							
	氏 名	(氏名を自署する場合は、押印は不要です。)							
	生 年 月 日	年 月 日 生							
	現 住 所								
保 護 者	入 学 後 の 予 定 住 所								
	(ふりがな)	㊟					志願者との		
	氏 名	(氏名を自署する場合は、押印は不要です。)					続 柄		
	現 住 所								
連絡先電話番号									
志 願 者 の 学 歴 及 び 職 歴	学 校 名				年 月 日		入学・卒業・その他		
	小学校第 6 学年						卒 業		
	中学校第 1 学年						入 学		
	中学校第 3 学年						卒業見込・卒業		

対 照 表

改 正 後

様式第1号（第14条関係）（用紙 日本産業規格A4縦型）

受 付 番 号			志 望 課 程			選 抜 の 種 類			※1
志 望 学 科	第1志望	第2志望	第3志望	第4志望	第5志望	第6志望	志願する学校 裁量枠		※2
入 学 願 書									
年 月 日									
静岡県立 高等学校長 様									
私は貴校に入学したいので保護者と連署して志願します。									
志 願 者	(ふりがな) 氏 名		㊟ (氏名を自署する場合は、押印は不要です。)						
	生 年 月 日		年 月 日 生						
	現 住 所								
	入 学 後 の 予 定 住 所								
保 護 者	(ふりがな) 氏 名		㊟ (氏名を自署する場合は、押印は不要です。)				志願者との 続 柄		
	現 住 所								
連絡先電話番号									
志 願 者 の 学 歴 及 び 職 歴	学 校 名				年 月 日		入学・卒業・その他		
	中学校第3学年						卒業見込・卒業		